

テクノコア

東京都千代田区神田小川町1-1
山基ビル4F
TEL.03-3518-2725
http://www.techno-core.jp/
http://www.axiz.co.jp/



鎌田 修 社長

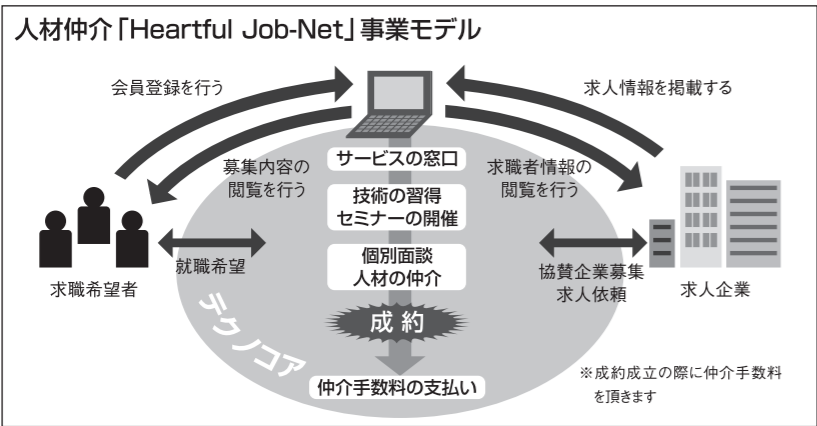
現場主義のキャリアラムで

ハイレベルなエンジニアを育成

正社員就職100%で成長する

IT養成スクール「Axiz」

企業の人件費のスリム化などを受け、正社員から派遣へと、雇用体系の変化が進んでいる。2001年から06年までの過去5年間で、企業全体の正社員は約153万人減少。逆に、派遣などの非正社員は、約164万人増加した（総務省）。



「Heartful Job-Net」に、仕事情報を掲載。テクノコアで技術セミナーを開催したり、面談などを通じてシニアの求職希望者と求人企業をマッチング

そして講座の集大成として2か月に一度、成果発表会がある。卒業生の採用を考えている135社の協賛企業のシステム部門の責任者や、人事担当者が招かれる。ここで発表を許されるのは課題をクリアし、即戦力の有望な人材として太鼓判が押せる受講生のみ。自己研さんを積んだ受講生だからこそ、企業側も安心して迎え入れる事ができる。一方、卒業し、即正社員で就職という実績は受

「雇用体系の変化は生活格差を生みました。これは300万人とも言われるフリーターの出現や少子化、晩婚化、年金問題など、さまざまな社会問題に直結します」

こう警鐘を鳴らすのは、99年4月設立のソフトウェア・システム開発企業、株式会社テクノコア（資本金4100万円）の鎌田修社長だ。流通、金融、通信など幅広い技術分野に開発の裾野を広げてきた同社。雇用体系の変化やIT業界の人材不足を優秀な即戦力人材の養成で解消しようとして、05年4月、ITエンジニア養成校「Axiz」を開校した。

「中小のIT企業が即戦力を獲得するのは困難な状況。しかし、未経験者を心置きなく自社で育成することは到底できません。例えば、日頃売上を上げる有能な技術者を講師として抜擢すれば、定期的な現場からアサインしなければならぬため、その間の売上に大きく響きます」と、鎌田社長は語る。

同校はこれまで180名近い即戦力のエンジニアを輩出。卒業生の就職率は100%。そのすべてが正社員で就職している実績を持つ。基本的な講座コースは「J

講生の大きな自信になる。こうした取り組みの中、業界内から「社員も教育してくれないか」との声が高まり、企業向け研修の受託も開始。すでに、ある大手システム開発会社の新人研修では、一括で100名以上の研修を実施している。また、大手食品メーカーの情報システム部門の教育も請け負っている。

日本のフリーターにIT開発のチャンス

コンピュータの黎明期から約30年間、システム営業畑を歩んできた鎌田社長。バブル崩壊期に単身企業を起し、一人また一人と社員を採用。そのほとんどが未経験者だった。そして、急増したフ



多くの採用担当が集まる成果発表会

「ava/SQL講座」、「Linux/LAMP講座」の2コース。各コース2か月間、未経験者の教育を行っている。加えて、ビジネスマナーや企業人としての有り方まで教えている。技術者である前にまずは企業人としてどうあるべきか、49項目のキャリアラムを受講できる。鎌田社長自らも教壇に立ち、コンピュータの歴史や業界の仕組みを教えたり、企業が求める人材等のセミナーも開催している。

「人」重視の教育を施し

ITの即戦力を輩出

「当校が運営上、最も重視しているのは「人」です。開発は、技術面はもちろんですが、人と人が関わるモノづくりの現場。受講生にはそのことを最も理解していただきたいですね」（鎌田社長）

卒業後、すぐにでも開発の第一線で活躍できる人材育成を主眼に置いている同校では、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）法とよばれる教育法を採用している。これは、受講者がプロジェクトチームを編成し、教科書では学べないチームでの開発経験を肌で感じさせ、「現場

リーターの将来を常日頃から憂いていた。

「社員と飲み屋でよく話していたんです。自分達はこうして仕事をしているけれど、フリーターを何とかできないだろうか」（鎌田社長）

「就労意欲ある未経験者を正社員として活躍させたい」。そんな鎌田社長を始めとする社員一同の想いが同校をここまで成長させてきた。

「35歳までフリーターでしたが、いろんなスクールに入學して資格を取って就職活動ばかり。『Axiz』の学歴・年齢問わず正社員で就職できるところが最大の魅力でした。」「授業内容が現場向きで、開発の第一線で使える生きたスキルを学べました」とは、卒業生の声だ。

「フレッツ10」計画の始動

「感動創造企業」を目指して

現在、中国の日系企業や日本企業で働く意志のある中国の学生や若者をIT教育する事業も始まっている。中国の現地企業との協力で、トライアルケースとして5名の若者の受入れを開始。市政府との連携も動き出した。



「Axiz」の教室。講座の一風景

力」を身に付ける教育法だ。

受講生の問題解決能力や危機管理能力を養うことができ、教科書ありきの教育法で、場当たりに資格取得を目指す一般的なITスクールとは一線を画している。

こうした実践的な授業を支える講師陣は、プロジェクトリーダークラスの経験豊富な技術者だ。豊富な経験があるので開発を進める上での楽しさや苦しさをしっかりと受講生に伝えられる。

「また、当校はIT開発の現場から生まれたITスクールです。就職先のIT企業のニーズや課題をよく理解し、『現場の声』を反映した先端の知識・技術を教育できると自負しています」（鎌田社長）

また、今後同社では、10の事業体、「フレッツ10計画」を構想している。その実現に向けて、既存のシステム事業部の100名規模への拡大と、データベース、サーバーに特化した30名の専門技術部隊の構築へ動き出した。さらに、人材教育のノウハウを生かした団塊世代向け人材活用サービス「Heartful Job-Net」を立ち上げる予定だ。

「これは営業や総務、財務、法務、システム開発、事業開発など、団塊世代が長年築いた経験や知識、技術、人脈を、後半生で社会に還元しながら、仕事をしたいと考えるシニアと人材を求め企業との『虹の架け橋』を目指しています」（鎌田社長）

人材不足にあえぎながらも具体的な正案を提示出来ないうでいるIT業界において、エンジニア養成校を開校し、確かな成果を上げる同社。その視野はITにとどまらず、世代、国境を越えた人材活用事業を展開し広がり続ける。人と人との関わりが新しい人材、事業を創出する同社の姿勢はまさに「感動を創造する企業」そのものだ。混沌とする社会を、新しい力で切り開いて行くだろうか。（崇）